

手と手をつないで

人権まつりだざいふ 2024 に参加して

本年2月25日(日)にプラム・カルコア太宰府(中央公民館)で人権まつりだざいふ2024が開催され、私は「願児我楽夢(がんじがらめ)」という人権バンドの一員としてステージ出演しました。実は3年前から人権まつりへの出演を依頼されていました。コロナ禍でコンサートが中止になっていましたが、ようやく実現でき、尽力してくださったスタッフの皆さんへの感謝とともに私たちの思いもまたひとしおでした。

私たちのコンサートでは、社会のさまざまな差別に立ち向かい闘い続けてきた人たちの思いを共有し、そのメッセージをたくさんの人たちに伝えることを大切にしています。だから、知り得た差別の事実に対しては、できる限り理解を深め、自分の課題としていきたいと思っています。

江口いとさんとの出会い①

皆さんは、「人権の詩人」とよばれる江口いとさんをご存じですか。部落解放を全国で叫び続けた詩は、現在でも多くの共感と感動を呼んでいます。

ある人権コンサートで、バンドメンバーの一人が「招かれなかったお誕生会」という江口いとさんの詩に出会いました。この詩に、あるフォークシンガーが作曲した歌を聴いたメンバーの彼は、自分もこの詩で曲を作りたいと思いました。彼は、江口いとさんの詩集『荊(いばら)を越えて』『人の値打ち』に触れ、思いをもとにしながら「招かれなかったお誕生会」の曲を作りました。以来、この歌は、願児我楽夢の初回コンサートから欠かさず演奏する曲になったのです。

以前、門司港の地で、全国人権・同和教育研究大会就学前教育部会の中でコンサートを行いました。コンサート終了後、参加していた1人の保育士の人に「これは江口いとさんの詩ですね。いとさんはお元気ですよ」と話しかけられ、私たちは驚きました。当時、いとさんはかなり高齢だったはずなのに、差別解消のために全国を行脚しているとのことでした。会場に「招かれなかったお誕生会」の詩の中に出てくるお子さんが通った保育所の先生が参加していたために起きた、奇跡のような話でした。ここから、私たち願児我楽夢と江口いとさんのお付き合いが始まるのですが、それはまた次回、お話ししたいと思います。



ブルーな気持ち 誰にも言えない

それ、マイクロアグレッションではありませんか？

マイクロアグレッションとは、小さい単位を表す「マイクロ」と、他者への攻撃という意味の「アグレッション」を組み合わせた言葉で、日本語で小さな攻撃性と訳されます。

他人を傷つける意図はなく発した言葉や行動でも、結果として相手を傷つけてしまうことがあります。意図がなければ問題ないのでしょうか。

「男性なのに、料理上手ですね」
「新入社員なのに、元氣ないね」
「ハーフだから、英語しゃべれるよね？」
「部落差別って今もあるの？」

わたしたちの日常生活に、マイクロアグレッションは潜んでいます。

だれもがいきいきと輝くまち「だざいふ」を、ともに築いていくために、

7月の同和問題啓発強調月間を機会に、何ができるか一緒に考えてみませんか。



わたしたちの何気ない言葉や行動が
誰かを傷つけているかもしれません。

7月は同和問題啓発強調月間

問い合わせ 人権政策課 人権・同和政策係(☎内線443)

◆市主催講演会 ページD:1024

「部落差別における
マイクログレッションとは？」

身近に潜む部落差別を、近年注目されるマイクログレッションという概念とともに考えます。

日時 7月13日(土) 午前10時～正午

(午前9時30分開場)

場所 プラム・カルコア太宰府(中央公民館)

市民ホール

講師 内田 龍史さん(関西大学教授)



大阪市立大学
院文学研究科後期
博士課程修了。博士
(文学)。専門は差別
と共生の社会学。

料金 無料

申し込み 不要

託児 あり(無料・前日までに要予約)

その他 手話通訳・要約筆記があります。

同日開催 人権パネル展

時間 午前9時30分～午後1時

場所 プラム・カルコア太宰府(中央公民館)

2階 ホワイエ

◆駅の人権啓発看板

人権都市宣言のまち「だざいふ」として、あらゆる差別をなくし、人権文化を築いていくため、西鉄五条駅前に人権啓発看板を設置しました。



右下に二次元コードを掲載しています。スマートフォンから読み込むと、さまざまな人権に関する記事やコンテンツをまとめた市の人権特設サイトへアクセスできます。人権を守るための取り組みや相談窓口も掲載していますので、ぜひアクセスしてみてください。

◆身元調査はお断り ページD:339923

身元調査とは、本人の知らないところで生まれた場所や住んでいる場所、家庭環境などを調査することです。

結婚や就職の際に、身元調査して得た情報をもとに差別が行われることがあります。これにより、プライバシーの侵害や結婚差別、就職差別などの人権侵害につながるおそれがあります。

また、身元調査を依頼することや引き受けることは、差別意識や偏見に基づく行為で、許されるものではありません。人権侵害や差別につながる調査には協力しないようにすることが大切です。



◆「本人通知制度」 ページD:1346

市民課窓口で住民票や戸籍謄本などの証明を発行するとき、マイナンバーカードや運転免許証などで本人確認していますが、全国各地で第三者による不正取得事件が後を絶ちません。

そこで、住民票や戸籍謄本などを本人以外が取得した場合、本人に知らせる「本人通知制度」を運用しています。

事前登録が必要です。希望する人は市民課へ問い合わせてください。

対象者 市に住民登録または本籍がある人

対象となる証明 住民票や戸籍謄本など

通知期間 登録した日の翌日から3年目の12月

31日まで

通知内容

交付年月日、証明書の種別と枚数、請求者の種別(代理人または第三者)登録申請書、本人確認書類(マイナンバーカード、運転免許証など)、代理人の場合は委任状
申請書、委任状はホームページから取得できます。登録は郵送でも受け付けます。

問い合わせ 市民課 市民係(☎内線304)

また、この「部落差別」が存在することによって生じるさまざまな社会問題(経済格差や教育格差、差別行為)を「**同和問題**」といいます。

人権講座ひまわりへ
参加しませんか ページD:29210

さまざまなテーマを通して、一人ひとりが人権について身近に感じ、互いの人権を尊重する大切さについて理解を深める講座です。

多様な人権課題に気づき、考え、行動する人となるために人権講座「ひまわり」に参加してみませんか。

【時】8月9日(金) 午後7時～8時30分

【所】太宰府市人権センター

【内容】人権講座「ひまわり」との出会い

【講師】三島 美智子さん

(太宰府市南隣保館 前館長)

【時】9月6日(金) 午後4時～5時30分

【所】福岡女子短期大学1号館134講義室

【内容】生徒の『学びたい』という想いを大切に

した公立夜間中学(福岡きぼう中)

【講師】内田 久徳さん

(福岡市立福岡きぼう中学校 校長)

【時】10月4日(金) 午後7～8時30分

【所】太宰府市人権センター

【内容】「子どもの意見表明権を考えよう」

【講師】楠田 瑛介さん

(福岡県田川児童相談所児童福祉法務
担当 弁護士)

【時】10月11日(金) 午後6時30分～8時

【所】国分共同利用施設

【内容】きこえない世界ときこえる世界に生きる

～コードとして・手話通訳者として～

【講師】山本 美代子さん

(太宰府市福祉課障がい福祉係 専任手話
通訳者)

【時】10月27日(日) 午前10時～11時30分

【所】プラム・カルコア太宰府(中央公民館)

多目的ホール

【内容】「絵本の力でこころもからだもゆたかに」

【講師】前園 敦子さん

(子どもの本専門店エルマー 代表)

【時】11月8日(金) 午後6時30分～8時

【所】筑紫台高等学校1号館4階視聴覚室

【内容】「在日コリアンの人権とヘイトスピーチ問題

～多文化共生社会へ向けて」

【講師】朴 康秀さん

(福岡県同和問題をはじめとする人権問題
に係る啓発・研修講師団 講師)

【時】12月6日(金) 午後7時～8時30分

【所】太宰府市人権センター

【内容】未定

【講師】清原 大輔さん

(部落解放同盟筑紫地区協議会 執行委員)